

平成28年10月27日(木)  
中日新聞(朝刊) 18面

(第3種郵便物認可)

# 被災地「心の回復まだ」

## 愛教大生 宮城での活動報告

東日本大震災の被災地で、夏休みにボランティア活動した愛知教育大(刈谷市)の学生たちが二十六日、同大で活動報告をした。

同大では二〇一一年

から宮城教育大(仙台市)と連携し、学生が被害を受けた宮城県内の小中学校で教員の補助や学習の支援をしている。今年は五人の学生が宮城県名取市の中

津波被害が大きかった同市閉上地区を訪れた四年生の名瀬裕さんは「準備なしには大切な命を失ってしまつ」と実感。つらい被災経験を語ってくれる人々の姿に「少しでも、私

たちを教訓に、被害を食い止めてほしいという思いを感じた」と話した。

被災地の復興状況について説明した四年生の浜野可菜さんは「ハード面での整備は進んでいるが、心の回復はまだ。私ができることを考えたい」と、被災者の力になりたいと伝えた。

(土屋晴康)

